



Title	彙報（1984年10月～1985年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 1986, 71(1-3), p. 209-223
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81101
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙 報

(1984年10月～1985年 9 月の研究活動)

本期間中に学報のほかに次の研究誌が発行された。

『世界口承文芸研究』第 6 号

世界諸民族の伝承文化研究特集号

大阪外国語大学口承文芸研究会 (1985. 5 . 31)

第 1 部 東洋編

万葉集地名の国語学的研究	吉 田 金 彦
牛 の 話	井 本 英 一
水底の都市	小 南 一 郎
カキ・トッアの話 (インドネシア・バリ島)	松 野 明 久
ベトナム語における「笑い」の表現構造	富 田 健 次
ビルマの地方民謡	大 野 徹
民話とラビンドラナート・タゴール アシュトシュニボッターチャルジョ	
.....	溝 上 富 夫・訳
北部インドの祭——資料と解説——	古賀勝郎 (解説・訳・註)
イランの割礼	浜 畑 祐 子
ナルト伝説	野 田 恵 剛・訳
ビラウハルとブーザースフの書 (その一) 池田修監訳, 解題 香戸精一	
.....	武井香澄・竹田真理・訳
現代エジプト民話選——採集ノートより——	高 階 美 行
エジプト民話集	藤 井 章 吾

第 2 部 西洋編

「ロビン・フッド・バラッド・サイクル」	
試訳(2)——「ロビン・フッドと修道僧」	金 山 崇

伝説に見るモチーフと記述の型と感情の関り

- 「スイスの伝説」を例に——……………乙 政 潤
ブルターニュの死神アンクーについての一考察……………阿 河 雄二郎
ノヴェッラの証言——三大ノヴェッラ集より見た中世
フィレンツェの特殊性（その一）……………米 山 喜 晟
Aritvnei Mizuno Poetae Iaponis :Amores Novi ……………水 野 有 庸
レ・ピアチェーヴォリ・ノッティ研究……………鳥 居 正 雄
ザンジバルの伝承……………宮 本 正 興
サンパウロ州の歌競べ……………ジョゼフ・M・ルイテン 河野 彰・訳
リテラトゥーラ・デ・コルデルの世界……………ジョゼフ・M・ルイテン 河野 彰・訳
19世紀マヤ族の反乱についての一考察……………桜 井 三枝子
ブラジルの民話……………東 明 彦・訳
ヘンティレス信仰の一断面
——中央アンデス・アコ村の事例より——……………加 藤 隆 浩
インカリ神話資料集 (1)……………加藤隆浩・青山和代・訳
チリ・サンチャゴにおける言語遊戯……………三 原 幸 久

『日本とドイツ——今日の相互交流と影響——』(1)

大阪外国語大学ドイツ語学科研究室 (1985, 3, '31)

- Antinukleare Theater in Deutschland und Japan ……………八 木 浩
(1) Vortrag
(2) 翻訳: エルンスト・シューマハー

『アインシュタイン——研究者の誘惑——』

- いわゆる「擬声語」の日独対照について……………乙 政 潤
語順の自由度……………野 村 泰 幸
日本の国語運動におけるドイツの国語運動の受容の流れ……………高 田 博 行
——その1: 1866年-1920年

「我が国語整理上ノ参考ニ資セント欲ス」——

Gedanken zum Sprachwechsel bei japanischen Deutschstudenten

……………Wolfgang Seltmann

《ヘルマン・ボネル特集》

Hermann Bohner—Japanolog und Germanist	八 木 浩
ドラマとオペラ	Hermann Bohner
	(訳: 福 元 圭 太)
「ドラマとオペラ」翻訳にあたって (論評)	福 元 圭 太
世阿弥: Buch von DER- BLUME- ÜBERLIEFERUNG	
(『花伝書』)	übersetzt von Hermann Bohner
Anlage: Zum Leben des Seami Motokiyo	
aus: Hermann Bohner, „No. Einführung“ Kapitel 38.	

『国際関係論の総合的研究』

大阪外国語大学(1985.3.31)

論 説

「莎菲女士の日記」と「我在霞村的時候」	
——丁玲二作品への比較文学的視点からの接近——	相 浦 果
小林秀雄の種の論理	
——日本戦時下における一文学者の真なる国際性について——	尾 上 新太郎
ソ連農業における集団請負制について	岡 本 武
ドイツ民法におけるライエについて(続)	貝 田 守
返還義務理論にみるラス・カサスの思想	
——『一二の疑問に答える』の分析——	染 田 秀 藤
国連安全保障理事会の表決手続に関する「ヤルタ方式」の形成過程	東 泰 介
パラツキとボヘミア	廣 實 源太郎
呪術的思考と日常性	細 谷 昌 志
日本と西ドイツにおける環境権	松 浦 寛
安政年間における横井小楠の「国際関係」観	森 藤 一 史
バスコンセロスの『宇宙民族論』	吉 田 秀太郎

研究メモ

ブルガリアの経済改革	梅 津 和 郎
------------------	---------

翻 訳

バーナード・ルイス著『中東と西洋』	勝 藤 猛
-------------------------	-------

論 説

- 貯蓄・投資バランスと国際収支……………野 村 茂 治
太平洋戦争中における朝鮮人民の反帝・反封建闘争
——勤労農民の経済的分析——……………小野田 求

Article

- Various Problems in Theory about the Measurement of Labour
Productivity of Soviet Industry …………… Kazuro Umezu

岡崎正孝・江浦公治

『カージャール朝史文献目録』

(付：19世紀後半の州知事年表)

大阪外国語大学外国語学部 (1985. 3)

[以下, A…著書・訳書, B…雑誌掲載論文, C…口頭研究発表]

〔中国語学科〕

西村 成雄		
A	『中国近代東北地域史研究』	法律文化社 (X + 490 + 20 p.) 1984.12
B1	Agrarian and Peasant Problems in the Chinese Revolution	Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa <i>Transformation and Peasant Movements in Contemporary Asia (pp. 33-54)</i> 1985. 3
B2	(書評) 横山英編『中国の近代化と地方政治』	雄山閣『歴史公論』第11巻11号, No. 120 (p.153) 1985. 9
C1	試論圍繞「抗日時期」基本線索的五個問題	東北師範大学・中国・長春歴史系学術座談会 1985.9.17
C2	中国近代東北区域政治史初探	〃 1985.9.18
C3	略論張学良政權の三年 —— 具有民族主義性質的区域政治結構的形成	〃 1985.9.18

〔モンゴル語学科〕

橋本 勝

B1	モンゴル口碑文学の一ジャンル	大阪外国語大学 口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第4号 1983. 3 .31
B2	外国語教育雑考	大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』第6号 1983. 8 .25
B3	モンゴル口承文芸の担い手	大阪外国語大学口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第5号 1984. 3 .31
B4	日本語・アルタイ語比較の一断片	日本語語源研究会『語源研究』第5号 1984.4.1

B5	On a Negative Expression in the Language of the Secret History of the Mongols (résumé)	"Proceedings of XXXI International Congress of Human Sciences in Asia and North Africa", Tokyo.	1984
B6	モンゴルの冬を越して	大阪外国語大学 モンゴル語研究室『朔風』第1号	1985. 7. 20
C1	「元朝秘史」における接尾辞—msar について	日本モンゴル学会秋季大会, 大阪大学	1982.11. 6
C2	On a Negative Expression in the Language of the Secret History of the Mongols	XXXI International Congress of Human Sciences in Asia and North Africa, Tokyo.	1983. 9. 2
C3	モンゴル諸語とその周辺	第6回大阪外国語大学学術講演会(石濱文庫記念)	1984. 6. 2
C4	Ch.バトスレン:「モンゴル語の syntax について」(翻訳)	日本モンゴル学会 春季大会, 東京外国語大学	1984. 5. 26
〔インドネシア・フィリピン語学科〕			
津田 守			
A1	『フィリピン問題入門』(共著)	NCC キリスト教 アジア資料センター	1984.10.12
A2	『フィリピン大衆文化への招待』(共訳)	井村文化事業社	1985. 1. 30
A3	『体験的アジア・ハンドブック』(共著)	日本 YMCA 同盟出版部	1985. 9. 1
ビエンヴェニド・ルンベラ (Bienvenido Lumbea)			
A	Revaluation: Essays on Philippine Literature, Cinema and Popular Culture	Quezon City, Philippines, Index	1984.10
B	"After the Yellow Year: The Literary Scene Since 21 August 1983"	The Diliman Review Vol. 32, No.7 (Literary Issue) p.1,29-31	1984.12
〔インド・パキスタン語学科〕			
桑島 昭			
A1	「現代南アジアの民衆運動と政治指導」	近藤 治編『インド世界—その歴史と文化』所収 世界思想社	1984.11.15
A2	「南アジア(現代)」	『アジア歴史研究入門5』所収 同朋舎	1984.12.15

B1	「第一次世界大戦とアジアシンガポールにおけるインド兵の反乱 (1915)」	『大阪外国語大学学報』 69号	1985. 3 .30
B2	「第二次世界大戦とベンガル飢饉」	『歴史評論』 425号	1985. 9 . 1
浜口 恒夫			
A	『パキスタン：世界の教科書 ― 歴史』（A・ハミード, A.G. チョウドリー著, 加賀谷寛, 松村耕光と共編訳）	ほるぷ出版	1985
B1	「インドにおける都市への人口移動とカースト——カーンプル, ジャーランドル, ファターハーバードの実態調査」	大阪外国語大学アジア研究会編『現代アジア社会の研究』	1982
B2	「パキスタン運動における全インド・ムスリム連盟の国家構想と社会経済政策」	『大阪外国語大学学報』 第61号	1983
B3	「現代南アジアの歴史と民衆 ― 民族主義の展開と国家建設」	近藤治編『インド世界 ― その歴史と文化』, 世界思想社	1984
B4	「パキスタン ― 軍部・官僚支配の『イスラーム国家』」	『国際問題』 第304号	1985. 7
B5	「パキスタンの教育制度」	『パキスタン：世界の教科書 ― 歴史』 ほるぷ出版	1985
溝上 富夫			
A1	「多言語社会の文化的諸相」	世界思想社『インド世界 その歴史と文化』	1984.11
A2	「先入観」、「先生」、「女苦行者」	第三文明社『タゴール著作集 第5巻』	1985. 2
B1	Vāpasī	『Jvālāmukhī』 No.5	1985. 1
B2	分離独立の悲劇―動乱と反乱のパンジャープ	朝日新聞社『週刊朝日百科 世界の地理―南アジア・オセアニア・インド＝3 北西部パキスタン』	1985. 5 .19
C1	パンジャープ語の使役動詞	大正大学 日本印度学仏教学会35回学術大会	1984.11.10
C2	母語による高等教育	パンジャープ州大学 テキスト局 チャンディーガル市	1985. 1 .16

〔タイ・ベトナム語学科〕

吉川 利治

- | | | | |
|---|--|---|-------------|
| A | トリーシン・ブンカチョーン著 吉川利治訳
『タイの小説と社会』 | 井村文化事業社 | 1985. 9 .25 |
| C | A Comparative Study of the Thai, Sanskrit
and Chinese Swan Maiden | <i>International Conference on
Thai Studies, Bangkok
Thailand</i> | 1984. 8 .23 |

〔ビルマ語学科〕

藪 司郎

- | | | | |
|-------|---------------------------------|---|--------------------|
| A | 『ビルマ語入門 I. 発音・文字・文法（増
補改訂版）』 | 教材用私家版（草稿） | 1983. 4 |
| B1 | 日本言語学会第85回大会報告（学界消息） | 東京外国語大学 アジア・ア
フリカ言語文化研究所『通信
』第47号 | 1983. 3 .25 |
| B2 | アジア事典（特集：辞書のたのしみ） | 大修館書店『言語』13巻1号 | 1984. 1 |
| B3 | ビルマ語から見たビルマ文化 | 天理教海外布教伝道部『海外
布教伝道部報』227号（要約）、
のちにパンフレット化（全文） | 1984. 1
1984. 5 |
| B4 | ビルマのなぞなぞ | 大修館書店 柴田武・谷川俊
太郎・矢川澄子（編）
『世界なぞなぞ大事典』 | 1984 |
| B5 | ナキヤモリと雨（特集：ことばのイメージ） | 大修館書店『言語』13巻9号 | 1984. 9 |
| B6 | 世界の詩——ビルマ・新学期 | 大修館書店『言語』14巻5号 | 1985. 5 |
| C1 | 対照言語学——ビルマ語と日本語 | 神戸YWCA学院 第12回日
本語教師養成セミナー | 1984. 5 .21 |
| C2 | ビルマのアチャン語 | チベット・ビルマ語研究会（京
都大学言語学教室） | 1985. 5 .25 |
| C3 | 第18回国際シナ・チベット語学会報告 | チベット・ビルマ語研究会（京
都大学言語学教室） | 1985. 9 .20 |
| C4 | ビルマ・シャン州北部のマル語について | ビルマ研究グループ研究総会
（八王子大学セミナーハウス） | 1985. 7 .30 |
| 南田みどり | | | |
| A | 『ビルマ語入門—発音編 文字編—』 | 大阪外国語大学 L.L. | 1985. 3 .30 |

B1	ビルマの文学	水曜社『日本の科学者』 Vol.19 No.11	1984.11. 1
B2	文学・芸術	ビルマ研究グループ事務局 『ビルマ関係邦語文献の解題 及び目録』	1985. 9
〔ペルシア語学科〕			
岡崎 正孝			
A1	『ペルシア語基礎1500語』	大学書林	1982. 1 .25
A2	『基礎ペルシア語』	大学書林	1982. 3 .20
A3	ジェイムズ・モーリア『ハジババの冒険』 1・ 2 (共訳)	平凡社 東洋文庫	1984.5-8
A4	『中東をめぐる諸問題』 共編	晃洋書房	1985. 3
A5	<i>Bibliography on Qajar Persia</i>	<i>Osaka Univ. of Foreign Studies</i>	1985. 3
B1	キャラジエ著『地中に潜在する水の開発』 (翻訳紹介)	大阪外国語大学アジア研究会 『現代アジア社会の研究』	1982. 3
B2	カージャール朝史ペルシア語史料解題	『オリエント』 25巻 2 号	1983. 3 .31
B3	19世紀後半イランの社会経済史資料 —— とくに英国外交文書を中心に ——	大阪外国語大学 アジア研究 会『現代アジアにおける地域 政治の諸相』	1984. 3
B4	「カージャール朝下におけるアフワーズ堰堤 利権について」	日本オリエント学会『オリエ ント学論集』	1984. 6 . 9
B5	19世紀後半のイランにおける養蚕業の衰退と ギーラーン地方の農業の変化	『オリエント』 27-2	1985. 3
B6	Irrigation Works and Development of Agriculture in Interior Anatolia —— Case Study of Hatip Village in Konya Province.	<i>The Utilization of Water and Water Power in Turkey, ed. Y. Sueo, Kansai Univ.</i>	1985. 3
B7	イラン社会雑感 —— 不安について	『季刊東西交渉』 1985年春の 号	1985. 4
B8	カナートとマンボ —— 灌漑技術の兄弟たち	『地理』 30-6	1985. 6
C	1860-70年におけるイラン農業の変化	日本オリエント学会 第27回 大会 天理大学	1983.11. 5

ハーシェム・ラジャブザーデ (Hashem Rajabzadeh)		
A1	31st International Congress of Human Sciences in Asia & North Africa (CISHAAN)	AYANDEH (literary magazine in Persian) Vol. 9 / 10-11 1984.1-2
A2	25th Congress of Oriental Studies in Japan(report & comment)	AYANDEH(literary magazine in Persian) Vol. 10/2-3 1984.4-5
A3	Sources of Japanese Culture and Tradition	<i>Iran Today</i> Published by : JETRO 1984. 9
A4	Old Tradition in Modern Japan	” ” ”
A5	The Secret of Japanese Success in Modernization (Translation from English)	” ” ”
A6	Japanese Success in Business Administration (Translation from English)	” ” ”
A7	26th Congress of Oriental Studies in Japan (report & comment)	AYANDEH (literary magazine in Persian) Vol. 11 / 4-5 1985.6-7
【英語学科】 好田 實		
B	The stone is too heavy for me to lift(* it)	大阪外大英語研究室 『英米研究』第14号 1985. 3 .30
上野 義和		
B	移動の方向を示す前置詞及び前置詞的副詞 —— <i>toward</i> v.s. <i>down, up</i> ——	『英米研究』14 1985. 3 .30
加藤 正治		
B	『カンタベリー物語』における ING 形の分析	大阪外国語大学 英語研究室 大阪外大『英米研究』第14号 1985. 3 .30
C	「動名詞の構造について」	近代英語協会第2回大会 (於：東京学芸大学) 1985. 5 .17

〔ドイツ語学科〕		
八木 浩		
B1	Vergleichende Betrachtung über das epische Theater und Brechts „Antigone“	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』67 1984.11.30
B2	ビューヒナー・コロキウム：『レオンスとレーナ』，『ヴォイツェク』	関西学院大学『独逸文学研究』25，26号 1984.4.1
B3	Antinukleare Theater in Deutschland und Japan (1) Vortrag (2) 翻訳：エルンスト・シューマハー 「アインシュタイン——研究者の誘惑——」	大阪外国語大学 ドイツ語学科研究室『日本とドイツ(1)』 1985.3.31
B4	Hermann Bohner——Japanolog und Germanist——	大阪外国語大学 ドイツ語学科研究室『日本とドイツ(1)』 1985.3.31
B5	ブレヒト『処置』再演への註	大阪外国語大学 ドイツ語学科研究室 <i>Sprache und Kultur</i> 19 1985.3.31
B6	東西ドイツ文学に共通のもの	日本民主文学同盟『民主文学』1985年10月号 1985.9.1
乙政 潤		
B1	日本語テキストの送り手関連的な性格——ドイツ語との対照——	ドイツ語学科研究室 <i>Sprache und Kultur</i> 19 1985.3.31
B2	いわゆる「擬声語」の日独対照について	大阪外国語大学『日本とドイツ』(1) 1985.3.31
B3	ある語彙テストについての考察	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』68 1985.3.30
B4	伝説に見るモチーフと記述の型と感情の関り	大阪外国語大学 口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第6号 1985.3.31
ヴォルフガング・ゼルトマン		
B1	Für und wider die (Her-) Übersetzung in der Deutschausbildung japanischer Studenten	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』68 1985.3.30
B2	Gedanken zum Sprachwechsel bei japanischen Deutschstudenten	大阪外国語大学 ドイツ語学科研究室『日本とドイツ』(1) 1985.3.31

B3	Zur Entwicklung des verstehenden Hörens von Texten bei Deutschstudenten in Japan	大阪外国語大学 ドイツ語研究室 <i>Sprache und Kultur</i> 19	1985. 3 .31
〔イタリア語学科〕			
米山 喜晟			
B1	L. A. Muratoriとイタリア詩の伝統 (2)	大阪外国語大学『学報』67号	1984.11.30
B2	中世フィレンツェにおける知的生産性飛躍の時期とその契機	幻想社『Ciclo-ルネサンス探究』2	1985. 3 . 1
B3	中世フィレンツェの知的生産性飛躍の時期と契機	大阪外国語大学『学報』69号	1985. 3 .30
B4	ノヴェッラの証言 (1) —— 三大ノヴェッラ集より見た中世フィレンツェの特殊性 ——	大阪外国語大学 口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第6号	1985. 3 .31
〔イスパニア語学科〕			
山崎 俊夫			
B1	イスパニア国鉄道発達の一世紀半 (Ⅱ)	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』第65号文化編	1984.11.30
B2	格差と抗争：労資関係の調整 (国際比較) —— 研究ノート及び資料 (Ⅲ) ——	大阪外国語大学 イスパニア語研究室 <i>Estudios Hispánicos</i> 第10号	1985. 3 .20
B3	(1983年9月5－9日第7回国際経済学協会マドリッド世界会議参加レポート) 第5分科会司会者エンリッケ・フエンテス・キンターナ博士稿二篇 (訳)	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』第69号文化編	1985. 3 .30
出口 厚実			
B	スペイン語における主語・動詞・目的語の語順に関する量的考察	<i>Estudios Hispánicos</i> No. 10	1985. 3 .20

〔ポルトガル・ブラジル語学科〕		
河野 彰		
B	「サンパウロ州の歌競べ」「リテラトゥーラ・デ・コルデルの世界」ジョゼフ・M・ルイテン 河野 彰・訳	大阪外国語大学 口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第6号 1985. 3. 30
〔ロシア語学科〕		
法橋 和彦		
B1	日本におけるプーシキン	ナウカ社『窓』 1984.12
B2	古典の生命力と科学の進歩 —— ゴーゴリ生誕175年の感想 ——	ロシア・ソヴェート文学研究会『むうざ』第二号 1984.12
B3	トルストイの自伝的作品にみる青春像	『青年運動』 1985. 3
C	『エヴゲーニイ・オネーギン』第一章第一節の解釈をめぐって	上智大学『日本ロシア文学会』 1984.10.20
〔教職〕		
苅阪満里子		
B1	精神作業時の脳波のスペクトル分析	日本心理学会『心理学研究』, 1979 50 45-48
B2	Human intelligence and power spectral analysis of visual evoked potentials	<i>Perceptual & Motor Skills</i> , 1980 50 192-194
B3	Peak frequency of alpha activity shifts during mental tasks: Hemispheric differences	Elsevier, (The Netherlands) 1981 <i>Electroencephalography & clinical Neurophysiology</i> ; 52, s53.
B4	Effect of memory set size upon visual evoked potential for digit and figure stimuli	The Psychonomic Society 1983 (USA) <i>Bulletin of the Psychonomic Society</i> , 21, 275-277
B5	精神作業と α 波ピーク周波数の関連・task difficulty の効果について	日本脳波筋電図学会『脳波と筋電図』11, 284-254 1983
B6	Peak alpha frequency of EEG during mental task; Task difficulty and hemispheric difference	The Society for Psychophysiological Research 1984 (USA) <i>Psychophysiology</i> , 21, 101-105

〔法律学〕

貝田 守

- | | | | |
|----|---------------------|-----------------------|-------------|
| A | 『財産法概説Ⅱ（債権法）』 | 法律文化社 | 1985. 1 .30 |
| B1 | 公務員の不法行為 | 日本評論社 法学セミナー増刊『不法行為法』 | 1985. 1 . 1 |
| B2 | ドイツ民法におけるライエについて（続） | 大阪外国語大学『国際関係論の総合的研究』 | 1985. 3 .31 |
| B3 | 公図の記入洩れと国家賠償 | 日本評論社『法律時報』57巻6号 | 1985. 5 . 1 |
| C1 | ドイツ民法の Leihe について | 民法学研究会（於：同志社大学） | 1984.12.15 |
| C2 | 公図の記入洩れと国家賠償 | 民事法研究会（於：京都大学） | 1985. 2 .24 |

〔物理学科〕

中村 明

- | | | | |
|----|--|---|-------------|
| A | Explode-decay solitons in "Dynamical Problems in Soliton Systems" | Springer-Verlag. Berlin, Heidelberg, New York, Tokyo pp.171-174 | 1985 |
| B1 | A New Example of Explode-Decay Solitary Waves in One-Dimension | 日本物理学会 ジャーナル刊行部 <i>Journal of the Physical Society of Japan</i> Vol. 54, No.2 (1985) pp.491-499 | 1985. 2 .15 |
| B2 | Exact Explode-Decay Soliton Solution of a Cylindrical Higher-Order Water-Wave Equation | 日本物理学会 ジャーナル刊行部 <i>Journal of the Physical Society of Japan</i> Vol. 54, No.6 (1985) pp.2105-2109 | 1985. 6 .15 |
| C1 | グラシカルーブジネ方程式のぼくはつーげんすい ソリトン | 富山大学 日本ぶつり学会 | 1984.10. 4 |
| C2 | 次元のかずとソリトン | 京都大学 日本ぶつり学会 | 1985. 3 . 2 |
| C3 | 円筒対称な高次のみずのなみのソリトン | 京都大学 基礎ぶつり研究所「ソリトン系のダイナミクスとそれに関するカオスの問題」研究会 | 1985. 3 .14 |

〔保健体育〕

辻 忠

- | | | | |
|----|-------------------------|------------------|-------------|
| B1 | 大学生男女の生活時間構造とスポーツ活動について | 『学校保健研究』27 (5) | 1985. 5 . 1 |
| B2 | 食物摂取状況の月間変動について | 『日本公衆衛生雑誌』32 (8) | 1985. 8 .15 |
| C | 大学生男女の運動クラブ練習日の生活時間構造 | 鹿児島大 第35回日本体育学会 | 1984.10.20 |

〔留学生別科別〕

角道 正佳

- | | | | |
|----|------------------------------------|----------------------------------|-------------|
| B1 | 「分節音とアクセント (2)
—— 岡山方言の分析から ——」 | 大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』第66号 1 - 16 | 1984.11.30 |
| B2 | 「分節音とアクセント (3)
—— 岡山方言の分析から ——」 | 大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』第68号 11 - 27 | 1985. 3 .30 |
| B3 | 「モンゴル人の住居」 | 大阪外国語大学モンゴル語研究室『朔風』第 1 号 42 - 61 | 1985. 7 .20 |
| C | 岡山方言における特殊拍とアクセント | 近畿音声言語研究会 第 4 回大会 大阪樟蔭女子大学 | 1985. 1 .19 |